

平成19年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援事業(3年目)案件:2007年12月分

番号	実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント
1.	<p>小樽商工会議所 (OTARU—ガラス工芸品の世界ブランド化プロジェクト)</p> <p><今月の事業実施状況> ・今月は主に香港展示会に向けた準備を中心に行った。 ・2月に小樽で開催されるイベント「小樽雪あかりの路」に期間を合わせたガラス展示会に関して、NHK札幌放送局より小樽ガラスとあかり(光)をテーマにした共催での展示会提案があり、現在検討中。</p> <p><担当者のコメント> 香港展示会では、展示会場を提供いただいた香港そごうはじめ、在香港日本国総領事館、JETRO香港の後援、香港日本人商工会議所、香港日本人倶楽部、香港日本文化協会(Japan Society)、日系雑誌・新聞社による周知など現地の日本関係機関の皆様から多くのご協力をいただくことができる。 ぜひとも香港から小樽ガラスの魅力を発信していきたいと思う。</p>
2.	<p>旭川商工会議所 (旭川家具ブランド確立推進事業)</p> <p><今月の事業実施状況> 12月の実施状況は、1月に開催するドイツケルンメッセに向け出展作品(10点)を発送した。</p> <p><担当者のコメント> 10作品のうち9点が新作であるが、昨年のケルンメッセで発表した、(株)メーベルトーコーの飾り棚がドイツの著名なインテリア誌「シェーナボーネン」の2008年世界のインテリア50選の一つに選ばれ、2008年ケルンメッセ開催にあたり期待がもてる。</p>
3.	<p>弘前商工会議所 (世界へ発進!津軽『うるおい、うるわし』事業プロジェクト)</p> <p><今月の事業実施状況></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 12月3日(月)8:00~14:00 船積み梱包作業 2. 12月5日(水)9:00~17:00 ニューズワーク取材 3. 12月12日(水)16:00~21:00 第27回WG メゾン・エ・オブジェ出展詳細打合せ 4. 12月19日(水)16:00~21:00 第28回WG メゾン・エ・オブジェ出展詳細打合せ 5. 12月26日(水)16:00~21:00 第29回WG メゾン・エ・オブジェ出展詳細打合せ
4.	<p>東通村商工会 (飛来する未来へ!!『ひがしどおり海山喰(か)さまい創出プロジェクト』)</p> <p><今月の事業実施状況> 12月5日(水)~10日(月)の行程で、JAPANブランド育成支援事業「飛躍する未来へ!ひがしどおり海山喰(か)さまい創出」プロジェクト、中国上海市展示・商談会を開催しました。6日は、上海市内の水産関係市場視察や食品販売状況等の視察をした。7日には、展示・商談会を開催し「干し貝柱・干シアワビ・干しナマコ」を使った創作料理の試食と地酒「特別純米酒(祈水)」の試飲も行き、合わせてブランド商品の紹介と具体的な商談会も実施した。</p> <p>来場者からは、いずれも高い評価を頂いたが、数量や価格面などで折り合いがつかず、具体的な成立はなかったものの天然素材の良さや知名度を高めることが出来たので、引き続き成立に向け取り組む。</p>

＜プロジェクト専門部会の開催＞

12月13日(木)午後6時より東通村商工会館に於いて、第4回プロジェクト専門部会を開催した。部会では、前回に引き続きブランド関連商品のマーケティング戦略立案と販売体制・組織づくり検討を、アドバイザーから提案された内容を中心に進められ、1月に開催する最終部会(5回)で方向性を決めることとした。

＜プロジェクト実行委員会の開催＞

12月14日(金)午後2時より東通村庁舎4階会議室に於いて、第2回プロジェクト実行委員会を開催した。実行委員会では、中間でのプロジェクト専門部会の経過報告と中国香港での市場調査や上海市での展示・商談会の状況などの報告を担当のアドバイザー委員が説明した。また、事務局から第3回の実行委員会(報告会)まで含めた、今後のスケジュールについて説明した。



中国上海市 展示・商談会開催風景



第2回プロジェクト実行委員会開催風景

＜担当者のコメント＞

5. 山形商工会議所 (山形発「カロッツェリア型ものづくり」のブランド展開)

＜今月の事業実施状況＞

フランスパリ 国際インテリア見本市 メゾン・エ・オブジェ出展製品を決定し、新製品がようやく完成した。新製品について写真撮影を行い、同展示会で使用するリーフレット作成を行った。また、ブース製作に関してフランスの現地業者と打合せをするため渡仏し、ブース素材など詳細な打合せを行った。併せて、現地の代理店とも同展示会の打合せを行った。

6. 会津若松商工会議所 (BITOWA FROM AIZU)

＜今月の事業実施状況＞

- ・JAPAN ブランド運営委員会 12/4 会津若松商工会議所
- ・JAPAN ブランド運営委員会 12/14 会津若松ワシントンホテル
- ・日経流通新聞(第2部)掲載
- ・海外販売代理店候補企業についての打ち合わせ(貿易アドバイザー)12/19 会津若松商工会議所
- ・海外販売代理店候補企業についての打ち合わせ(貿易アドバイザー)12/26 会津若松商工会議所
- ・JAPAN ブランド運営委員会 12/26 会津若松商工会議所

～～今後の予定～～

メゾン・エ・オブジェ 2008 出展

2008年1月25日～29日までパリで開催される「メゾン・エ・オブジェ」にて、展示公開を致します。

1. 会場 フランスパリ「パリノール見本市会場」
2. 会期 2008年1月25日(金)～29日(火) 9:30～19:00(最終日:18:00)
3. 対象出品物 室内装飾(インテリア)・ギフト商品など
4. 出展ブース インテリア・シーン (Scenes d'interieur) ホール名:Hall 5B(20㎡)
5. 出品物 BITOWA 新商品(16アイテム) 他 classic、modern 一部

7. 川口商工会議所 (「Casting Innovation 新・川口鋳物の創造」)

＜今月の事業実施状況＞

- JAPAN ブランドプロジェクト委員会

第7回

日時 12月13日(木)午前10時～午後12時15分

会場 川口商工会議所 会議室

参加者 15 人

議 題

- ・試作品の進捗状況の確認
- ・パイロット販売について販売戦略の検討
- ・各展示会へ向けた計画の検討

○ JAPAN ブランドプロジェクト小委員会

第 11 回

日 時 12 月 5 日(月)午後 4 時 30 分～午後 6 時

会 場 川口センタービル 4 階 会議室

参加者 11 人

議 題

- ・メゾンエオブジェ 2008 展示会への取り組みについて

第 12 回

日 時 12 月 17 日(月)午後 2 時～午後 4 時 30 分

会 場 川口商工会議所会議室

参加者 6 人

議 題

- ・メゾンエオブジェ 2008 展示会への取り組みについて

○ 諸会合・取材・展示会

第 65 回 インターナショナル東京ギフトショー出展社説明会

12 月 10 日(月)午前 10 時 30 分 於 東京ビッグサイト

参加者 1 人

パンフレット用レシピ撮影

12 月 21 日(金)午前 10 時～午後 4 時 於 東京電力草加営業センター

参加者 4 人

事業打合せ

12 月 21 日(金)午後 2 時～午後 3 時 パイロット販売について

<担当者のコメント>

製品の最終確認、パイロット販売・メゾン・エ・オブジェ展示会へ向けた取り組みを行なった。

8. 三条商工会議所 (SANJO 発 グローバル・ブランド構築支援プロジェクト)

<今月の事業実施状況>

1. 展示会出展準備

2 月 8 日～5 日に開催されるアンビエンテ・メッセ・フランクフルト 2008 出展に向け最終準備。

今年度、参加企業も加わり新たにカタログ作成のため、印刷業者の選定のほか載製品リストを決定し写真撮影まで完了。1 月中旬を目途に完成予定。

展示小間のレイアウトについて委員長及びコーディネートの松丸氏を中心に、どう見せるか小間は狭いながらも展示スペース、商談スペースを確保できるようレイアウトを検討し昨年よりオープンな雰囲気仕上げる。展示会のアテンドについて参加要請し今回の展示会には参加企業 6 社が現地で対応することで準備を進める。参加企業もこれまで以上の反応に期待している。

2. 日経 MJ に広報掲載

12 月 17 日特集記事として三条の取組みも掲載され一般の方から製造方法について数件の問合せ。

3. その他

	<p>JAPANブランド製品のネット販売についての提案があり、燕会議所担当者と概要について説明を受ける。</p> <p>単なる製品販売だけでなく、作り手の思い、技術、使い易さを伝えながらのページ構成の提案をいただく。</p> <p>コストも最小限に抑えられているが企業側の配送等に係る部分をどうクリアできるかが課題。</p> <p>松丸コーディネーターと企業訪問を実施。新規参加企業の開発品の進捗状況を確認。</p>
	<p><担当者のコメント></p> <p>2月のアンビエンテ展示会、ギフトショー出展と期間が重なりあわただしい中準備を進めた。</p>
9.	<p>燕商工会議所（“enn”ブランド育成支援事業）</p>
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>ニューヨーク国際ギフトフェア、フランクフルト・アンビエンテ用パンフレットの作成。写真撮影などを行った。</p> <p>ニューヨーク国際ギフトフェア New York's Newest</p> <p>会期:平成20年2月2日～5日</p> <p>会場:アメリカ・ニューヨーク、Metropolitan Pavilion(ブースNo.9418)</p> <p>フランクフルト・アンビエンテ</p> <p>会期:平成20年2月8日～12日</p> <p>会場:ドイツ・フランクフルト、フランクフルト国際見本市会場(ブースNo.5.1B, ブースNo.9.2F23)</p>
	<p><担当者のコメント></p> <p>「enn」ブランドは、フランス人シェフ「ジョエル・ロブション」と契約をしている。ロブションのカトラリーセレクションとして金属洋食器「ルージュ・エ・ノール」は、認定を受けている。</p> <p>そのロブションが、今回の「MICHELIN GUIDE 東京2008」で高い評価を受けた。3つ星＝1店舗、2つ星＝1店舗、1つ星＝1店舗、合計3店舗で星6つを獲得した。「enn」ブランドのPRにもつながると期待が膨らんでいる。</p>
10.	<p>加茂商工会議所（桐を中心とした加茂木エブランドの海外市場販路確立プロジェクト）</p>
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>【検討内容】</p> <p>・12/12 ①東京国際家具見本市後の販路拡大および取引状況について ②本年度事業の執行状況について ③次年度以降の取り組みについて(組織づくり、予算捻出等)</p> <p>・12/26 ①ブランド確立に向けた当所の取り組みについて再確認 ②4月以降の事業体制および予算について ③フランクフルト・メッセ・アンビエンテ出展について</p> <p>【今後の予定】</p> <p>H20年2月8日～12日 フランクフルト・メッセ・アンビエンテ「COOL J」及び「sozo_comm」に出展。見本市WEB上にデータを公開。</p>
	<p><担当者のコメント></p> <p>フランクフルトに向けて、商品を発送。現地での日程調整等準備を進めている。今後の事業展開から、現地マーケティングだけでなく、貿易関係までフォローできる海外コーディネーターが必要。</p> <p>本年度事業のとりまとめと同時並行に、4月以降の事業体制の準備が急がれる。</p>
11.	<p>岡谷商工会議所（岡谷絹< 絹(あしぎぬ) >製品のブランド化事業）</p>
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>12月5日(水)～7日(金)に東京ビッグサイトで開催されたJAPAN CREATION2008 A/Wに出展。今回の主力製品である諸絶絹(もろあしぎぬ)のネクタイ、女性用マフラ</p>

一、ストール、服飾生地を中心に約80点を展示した。ブース入口では岡谷絹の製作工程を紹介するDVDの放映や、麻由から手引きによる繰糸を簡単な装置で実演するなどして多くの来場者が訪れた。

3日間を通じて数社と商談があり、中でも有名服飾生地会社とは具体的な取引につながりそうな話をいただいている。



12. 飯田市鼎商工会(「飯田水引」アートのブランド確立)

<今月の事業実施状況>

○12月12日 第5回プロジェクト委員会

- ・メナード美術館の展示について具体的内容協議。メイン作品は渡邊氏が製作に当たる。他のメンバーはオリジナル作品の製作
- ・世田谷ものづくり学校の展示について展示内容の協議
- ・パンフレット作成内容協議
- ・来年の夏、銀座三越での展示に向けて進むことを確認

○12月21日 東京インターナショナルギフトショー出展申し込み

<担当者のコメント>

13. 富士吉田商工会議所(海外展開ブランド支援事業『プロジェクトfuji faconne(フジファソネ)』)

<今月の事業実施状況>

12月5日(水)～7日(金)において開催されたJFW ジャパンクリエイションへ商品を出品。

同展におけるバイヤーズセレクトに「Fuji Façonné」の製品約200点を出品し、66社からのべ360点の製品がセレクトされ、新たな顧客の開拓につながった。

また、1月末に出展する TISSU PREMIER 展の準備を進める中、ファッションショーへの商品提供を特別に依頼され、Fuji Façonné が製作した洋服数点をこのファッションショー向けに提供した。

このファッションショーは今回30周年を迎える TISSU PREMIER の記念イベントとして開催されるもので、Fuji Façonné の製品に対し一定の評価をしていることから商品の提供を依頼されたもの。



<担当者のコメント>

本プロジェクトにおいては、海外展開を主たる目的としているが、今回国内での反応を伺うべく国内展「JFWジャパンクリエイション」へ独自財源により出品した。本プロジェクト参画事業者がバイヤーに選ばれた出展者だけが出展できる『バイヤーズセレクト』セレクトされ、他の出展者とは一線を画すコーナーへの出展は来場するメーカー等への印象も強くバイヤーのみに入場が制限されているため、確実に国内での反応を見ることが出来たといえる。

また、30周年をむかえる TISSU PREMIER の記念イベントであるファッションショーへの製品提供は、平成16年度以来継続して出展し、Fuji Façonné の製品についても一定の評価を受けていることから、主催者から特別に依頼されたもので、このファッションショーにおいて製品が紹介されることでFuji Façonné への注目が高まることに期待したい。

14. 福田町商工会

	(FUKUDEコード・ルネッサンスMISSION—コーデロイ(solbrevaco)事業本格始動—)
	<今月の事業実施状況>
	<担当者のコメント>
15.	一宮商工会議所 (JB(ジョイント・尾州)ブランド構築事業)
	<今月の事業実施状況> ・12/11(火)JB海外展出展企業担当者会議開催 JBミラノ・パリ展示商談会の反省とその後について パリ展については、概ね成功。来場者については、相手を絞り込んだため前回より減少しました。 (入場者72社 196名(前回247名)、サンプル請求867点、見本反請求 2社 2点) ミラノ展については、第1回の展示会でした。(入場者38社 70名、サンプル請求327点) 参加企業7社とエージェントを交えまして、展示会と今後のことについて、意見交換しました。 ・12/20(木)～21日(金) 2月に、パリ・ミラノで有名ブランドに提案するための、2009年春夏 素材開発の進行状況の確認 (参画企業11社)及び打合せをする。
	<担当者のコメント> 2月に有名ブランドに提案するための、各社素材開発から製作が順調に進行しております。
16.	有松商工会 (創造と進化～有松鳴海絞りブランド)
	<今月の事業実施状況>
	<担当者のコメント>
17.	高山商工会議所 (『飛騨春慶のある生活提案』によるブランド育成事業)
	<今月の事業実施状況> ●12月5日パリに向けて、出品商品と什器備品を11t満載で高山を出荷した。 12月19日40コンテナの名古屋港の船積みを完了した報告が運送会社からきた。 ①カタログ製作の初校、念校など、グループ各社との調整・確認をする。 ②パリ出発1月22日の前、1月15日(火)に、パリ出張者全員の実行委員会の開催を決定する。 ③メゾン・エ・オブジェ主催者からのFAX等の連絡に対応する。特に搬入搬出の手続きにおいて、現地工事業者と出品物搬入業者への連絡と調整など。
	<担当者のコメント> ●今回の運送手続きについて 本事業は3回目ということもあり、初回目の闇雲な状況の中で準備したことと比較して一つの仕組みと人間関係が成立してきたことによるスムーズさはありがたい状況であった。カルネの問題にしてもメンバー全員にそのルールがやっと理解されるようになってきた。輸出業務というものは、このように繰り返し経験していくことが大切であるとの認識を改めて持っている。 ●3度目の集大成としていかに成果をあげるか 今回のメゾン・エ・オブジェは、“ETHNIC CHIC MIC”81㎡であり、従来のプラネット・ムーブルの約5倍の入場者が期待できる中、会場内接客方法、アンケートのとり方、通訳とのコミュニケーションのあり方、接客記録の残し方、カタログ・リーフレットの配布の仕方、会期後の問い合わせに対する対応体制のあり方など、多岐に亘る課題がある。最大の問題は言葉の壁である。1月15日に出張者全員の実行委員会において、接客対応マニュアルに基づいて留意点を含めた説明をして各自の意識徹底を促すが、前回までの経験からコントラクトニーズ(ホテル、レストラン、ホームコントラクト)顧客への積極的な接客を優先することが大切であることを意識づけることにしている。
18.	紀北町商工会(JAPANブランド ザ・たべきり)
	<今月の事業実施状況> ■商品開発 消臭液の実用化に向けたテスト この結果をもとにサンプルを作り、紀北町商工会においてテストを実施する。

■ 専門家招聘

紀北町商工会へ専門家を招聘し、開発した消臭剤G(1/10)及び消臭剤R(PLG)について種々の比較試験

による検証と消臭成分についてレクチャーをいただく。また、容器の形態などについてディスカッションも実施した。

平成19年12月6日(木) 12月7日(金)

講師・高富廣志 氏(商品開発)

< 担当者のコメント >

今回の試験結果で、一般家庭で室内や台所へも使用可能であることが証明された。これは大きな収穫である。



19. 輪島商工会議所 (「出会い」創造プロジェクト—輪島から感動を伝えたい—)

< 今月の事業実施状況 >

12月4日

第2回新発信・再発信・創造合同分科会を開催し、企画展に向けた常設展示場のレイアウト、蒔絵の実演、入れ替えする展示商品を決める。

12日～16日

展示会(クリスマスフェア)

展示場のレイアウトを変更

1日平均20名程度の来客。蒔絵の実演、新商品の展示を行った。

1日2～3点の商品が売れる。

NY挨拶回り JETORO NY、JNTO、総領事館、NY日本商工会議所

五紘財団、JAPAN SOCIETY、SONY

20. 能登町商工会(『能登の醸し』ブランド発信事業)

< 今月の事業実施状況 >

平成17年度に作成した「いしり物語」の増刷

「いしりレシピ」英語版・日本語版の作成

セミナーへの参加

< 担当者のコメント >

お金をかけてキレイに商品を撮影してカタログを作ってみても、カタログの写真のキレイさでお客さんは買う気になりません。

興味のないものを売り込まれても、さうとう魅力的な商品でないかぎりすぐには購入していただくことは難しいと思います。今は必要ないと言われておしまいです。普段は必要と思っていなくても商品の歴史や関係者の声など物語やストーリー性を持たせた小冊子を見せることにより、買う気になったり興味がわいてくると思われます。つまり相手(商品)のことがわかると安心するし親しみがわくと思われます。どんなものかわからない状態では買う気になれません。まず相手(商品)のことを理解してもらい、そして、商品のことをいろいろわかってもらった上で、売り込むのではなくお知らせする又は語る必要があると考え作成しました。

できるだけ専門用語を使わずにわかりやすく書き、今すぐ購入していただくというのではなく、時間

	<p>ができたときに手にとって読んでいただき商品のこだわりなど思いやこだわり伝える機会とし、押し売りではなく信頼と安心をお届けすることでお客様との素晴らしい出会いをたくさん作ってくださると思います。</p>
21. 山中商工会(YAMANAKAブランドの確立)	
	<p><今月の事業実施状況> 12月11日 NUSSHA メンバー会議(4人出席) メゾン&オブジェ展示サンプル発送と会期中アテンドについて 12月25日 漆建築材料応用について NY 大西氏と懇談</p> <p>NUSSHA 取材記事 ・日経新聞 日経流通新聞(日経MJ) 2007年12月17日号 第2部4頁 JAPANブランド広告特集</p> <p>・(社)共同通信社 国際局海外部 英文記事配信 2007年12月26日 国内外のメディア、企業、在外公館、在京外国大使館、国際機関</p> <p>・(株)家庭日用品新聞社 生活産業新聞 2008年1月1日号 19頁 JAPAN ブランド特集</p>
	<担当者のコメント>
22. 鯖江商工会議所 (めがねのメッカ福井県鯖江市[THE291(フクイ)]のブランド展開)	
	<p><今月の事業実施状況> ・12/10~13 香港展のフォローアップのため、中村副委員長が香港を再度訪問。有力店の取引調査のため(福井県事務所の北川氏同行) ・12/12~15 「食とものづくり総合展 in エコプロダクツ」に参加。一般消費者にアンケートを実施。現行モデルを評価してもらい、今後のデザインコンセプトにいかす。</p>
	<p><担当者のコメント> 「食とものづくり総合展 in エコプロダクツ」は、本当にたくさんの人出だったが、人の導線から外れた場所にあったこともあり、当ブースに立ち寄る人は少なかった。それでも、手作りの携帯ストラップを景品にして三百余のアンケートを集めた。291の認知度を高めることになったかは疑問。</p>
23. 京都商工会議所 (KYOTO PREMIUM)	
	<p><今月の事業実施状況> 12月13日 第2回輸出ビジネスセミナー メゾン・エ・オブジェでの商談を想定し、実務演習型のセミナーを実施した。 12月26日 第5回ワーキング委員会 メゾン・エ・オブジェでの運営体制および国内凱旋展示発表会等について検討した。</p>
	<p><担当者のコメント> ・1月下旬に実施する「パリ・ロンドン視察団」の視察先の調整に手間取った。</p>
24. 京都府商工会連合会 (丹後テキスタイル)	
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>・12/5 第5回ワーキング委員会を開催。 パリ展示会開催時の旅程・スケジュール、招待状のデザイン、体裁等を決定した。 ・12/26 第6回ワーキング委員会を開催。</p>

パリ展示会出展品を各事業者が持ち寄り確認、また、展示会場内のレイアウトの検討を行った。

パリ展示会の招待状の作成作業の実施や、会場レイアウト・展示品の陳列について検討するため、月初と月末の2回に渡り、ワーキング委員会を開催、参画事業者はコーディネーターや会場作りを担当する空間デザイナーの指導の下、熱心に内容を検討した。



<担当者のコメント>

事務局としても、旅程の作成等、いよいよ具体的作業に着手。何とか今回も成功させたい。そのような中、うれしいニュースが飛び込んできた。参画事業者の一社が昨年度の展示会に来場したニナ・リッチとの本格的な商談を成立させたとのこと、そのことが地元新聞社にも取り上げられた。他の事業者も続くべく、勢いに乗っている。



25. 淡路市商工会（～Kosai Aroma～香りの文化を演出し「あわじ島の香司」ブランド確立）

<今月の事業実施状況>

◎Kosai Aroma 委員会

12月3日(月) アメリカ現地のスタッフを交え、NY展示会の概要説明を受けた後、展示ブースでの商品構成や準備物関係、市場調査等の内容やスケジュールについて協議する。

12月26日(月) NY展示会での設営や商品関係、市場調査の内容と共にフランス事業についても新たな販路開拓について協議する。

◎試作品開発 「あわじ島の香司」ロゴマーク入りのオリジナルライターが完成。新たにお香や香立等と共に「あわじ島の香司」ブランドの確立を目指す。

◎展 示 会 ニューヨークインターナショナルギフトフェア出展に際しアメリカ現地のスタッフと共に会場設営や商品構成、ブース内での対応、市場調査の店舗等の選定や調査内容についての本格的な準備に入る。

◎広 報 ・新聞、雑誌等各種マスコミからの取材への対応。

・リーフレット等印刷物の作成及び増刷に伴い内容を再検討する。

・HPの更新やブログコーナーの本格稼働に向けて協議する。

<担当者のコメント>

アメリカ現地スタッフが来日したので、会場設営や商品構成、ブース内での対応、市場調査の店舗等の選定や調査内容について詳細な打合せが出来た。今回の展示会出展をきっかけに更なるアメリカ市場への事業展開に積極的に取り組んでいきたい。

26. 松江商工会議所（NEW松江菓子海外市場開拓プロジェクト）

<今月の事業実施状況>

(1)11月30日～12月4日 NEW 松江菓子イン・ニューヨーク

実行委員と和菓子職人が渡米し、和菓子作りの実演と展示PRイベントを紀伊国屋書店ニューヨーク店2階カフェザイヤ横催し物会場と41丁目のカフェザイヤ本店において行った。
(2)12月12日 実行委員会 ニューヨークイベントの成果について報告を行った。

<担当者のコメント>

今月は、実際に現地の方に新作菓子を食べていただき、好評を得た。一方では、気候・風土による食品品質への影響や、冷凍技術の進歩と解凍後の劣化問題、甘さへの反応の違いなど問題提起と発見があるなど、大いに成果があった。

27. 府中商工会議所

(FUTON—STYLEによる府中家具のブランド構築事業(ベッドルームのトータル化事業))

<今月の事業実施状況>

1. 第2回JAPANブランド推進委員会

とき 12月5日(水)午後2時~3時

ところ 府中商工会議所

内容 ○平成20年1月のラスベガス展示会の出展について

・概要について事務局より説明。

○来年度以降の海外展開について

・日商が検討している支援策について説明。

・次回の出展説明と今までの実績報告、来年度以降の支援制度の説明。

○ラスベガス出展試作品について

・各社の試作品コンセプトの説明をする。

2. 試作品の開発

ラスベガス展示会出展用試作品の開発をしてもらう。

○ 佐々木木工 … REN「連」コレクション

前回出展商品「結」コレクションの和紙の色を変え、アメリカのニーズを取り入れた商品(12点)

○ 松創 … エミール・楽、匠シリーズ

エミールシリーズには象嵌を使用。

ヨーロッパ風、和風、漆と自社の柱となる技術を取り入れた商品(7点)

○ 松岡家具製造 … 月灯(げっとう)~moon light~

全てのアイテムに灯を付けた商品(5点)

※ 記者発表の新聞掲載記事を添付

3. 府中家具メーカー海外展示会出展勉強会

とき 12月6日(木)午前9時30分~正午

ところ 府中商工会議所

講師 海外進出コーディネーター 田中 元英 氏

内容 ○ 府中家具北米市場展示場開設に関する調査について

・平成19年1月及び7月に開催された家具見本市へ展示を行い、府中家具の優れた品質に関しては多大な評価を受けている。しかし、価格、家具のサイズ、デザインについてさらなる改良、改善を加えないと北米での販売は困難。2008年の後期には集客数がハイポイントを上回り、米国一の家具展示会場となる予測が権威ある調査会社による報告発表がなされている。

・米国での家具見本市は、東海岸ノースカロライナ州ハイポイントと西海岸ネバダ州ラスベガスが2大展示会場となる。

・5年後、どちらのマーケットが重要視されるかについては、ラスベガスが65%、ハイポイントが21%との結果が出ている。

28.	熊野町商工会（「FU-DE」世界的ブームの創出・FU-DE で日本の四季の綾を世界に！）
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>12月5日 第13回実施委員会 CHA展示会参加は竹森・宗盛委員・久保隅委員は決定、西田・丸山・竹田委員は推薦があったが12月14日までに回答することとなる。CHA関連決定事項を協議。</p> <p>12月26日 第14回実施委員会 CHA参加委員協議及びスケジュール内容の検討</p>
	<p><担当者のコメント></p>
29.	福岡商工会議所（21世紀博多織 JAPAN ブランド）
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>11 月末までに、折柄のデザイン・織りを終えた生地をメーカーに提供、ドレスの制作に入り、25 日までに完成。27,28 日の両日、一般公募モデルを使ったスタジオ撮影を行った。 この写真を使って博多織ドレスの統一カタログ制作を進めるとともに、結婚情報誌「ゼクシィ」2 月 25 日発売号に博多織ドレス特集を掲載予定。カタログ、特集の取材のため制作過程でメーカーを訪問し、博多織についての意見も収集出来た。</p>
	<p><担当者のコメント></p> <p>縫製までやったメーカーから、博多織生地の特徴について貴重な意見を聞いた。 全体としては、素材としての博多織の可能性に、非常に期待感が高まっており、各社とも今後のビジネス展開、博多織の素材活用についてプランを考え始めていた。</p>
30.	大川商工会議所（大川家具ブランド確立(新ブランド開発)事業)
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>12 月 3 日 事業所会議を開催し、東京国際家具見本市の展示会報告と今後の営業活動についての協議を行う。 協議事項 展示会来場者に対する営業担当者の確認、販売価格・卸価格の確認、販売資料の確認。</p> <p>12 月 19 日 事業所会議を開催し、1月のケルン展示会についての最終確認協議を行う。 協議事項 展示会スケジュールの確認、会場設営の確認、販売価格と輸送及び決済の確認、カタログ等の送付の確認、広報の確認。</p> <p>12 月 20 日 ワーキング会議の開催 19 年度事業の進捗報告及び今後の予定についての協議を行う。 ・商品開発の状況と東京国際家具見本市報告、及びケルン展示会準備の報告。 ・ブランド評価委員会について ・1 月 31 日に開催される「中小企業サポーターズサミットin九州」への参加決定。 ・2 月 5 日～8 日に開催される「JAPANブランドエキジビションinギフトショー」への参加決定。</p> <p>12 月 25 日 ケルン展示会への案内をメールで送付。(案内内容は別添)</p>
	<p><担当者のコメント></p> <p>11 月の東京国際家具見本市を終え、次はケルン国際家具見本市の開催が迫ってきた。 展示会ではより多くの人にSAJICA商品を見てもらい、輸出の実績を作りたいと思う。</p>
31.	鹿児島県商工会連合会（薩摩が誇る美と技のコラボレーション）
	<p><今月の事業実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成19年12月20日に第2回実行委員会を開催し、現在までの事業遂行状況報告・海外展示会・今後のスケジュールについて説明。

今年「メイド・イン・ジャパン・プロジェクト」の瀧氏をプロデューサーに迎え、特に大島紬は4社この事業に参加しており、4社統一した新しいブランド「SOF」を立上げ、消費者の意見を取り入れた商品づくりをしてきた。また、10月に開催された東京ミッドタウン THE COVER NIPPON での展示会等について詳しく説明した。海外展示会においては、ジェトロの協力を得て2008年1月25日～29日までフランス・パリで開催されるメゾン&オブジェに出展することについて説明し承認を得た。また、メゾン&オブジェの展示会においてもメイド・イン・ジャパン・プロジェクトの瀧氏をプロデューサーをお願いし展示会の準備をしている事等について説明した。今回の展示会のテーマは「SATSUMA CHIC OSHIMA TSUMUGI & SATSUMA KIRIKO」薩摩の粹な特産品として大島紬と薩摩切子の販路拡大を目指すことを目標とすることを説明。最後に、来年2月5日～8日まで開催される東京ギフトショーについても出展することを決定した。

<担当者のコメント>

- ・ 今までの海外展示会においては、日本人にプロデューサーをお願いしていたこともあり、海外の展示会場の内容が詳しく分からず、現地に到着してからレイアウトを変更することもたびたびあったが、今回はメゾン&オブジェに出展することになり展示コンセプト・展示商品・展示のレイアウト等スムーズに話しが進んだ。また、消費者に一番近い瀧氏をプロデューサーに迎えることにより、消費者が欲しがっている商品を作成することができた。

平成19年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援事業(2年目)案件:2007年12月分

番号	実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント
1.	<p>札幌商工会議所(スイーツの街・札幌 ブランド発信事業)</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p><担当者のコメント></p>
2.	<p>盛岡商工会議所 (南部鉄器フォ・ユーロ・ブランディング事業)</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>○11月に送付した試作品(18年度に試作した11アイテムのうち、8月に送らなかった3アイテムとホーロー加工の代替となる塗料を塗布したサンプル)をフィンランドに送り、デザイナーのタウノ タルナ氏による検証を継続している。</p> <p>○タウノ氏から示された新製品共通のシンボルマーク素案について、岩手県工業技術センターで図案化を進めており、商標登録についても検討している。</p> <p>○タウノ氏から示された改良点、デザインの修正等に基づき、岩手県工業技術センターで光造型機による原型作成の準備作業を継続している。</p> <p>○改良点を反映させた本年度試作品について、それぞれの工房で試作の準備を継続している。</p> <p>○1月中をめどにパッケージデザインの素案作成作業を進めている。</p> <p>○銀座のレストランシェフと試作品評価方法等についての検討を行なうことで、1月半ばをめどに日程を調整している。</p>
3.	<p>泉佐野商工会議所 (泉州こだわりタオルブランドの構築)</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>「泉州こだわりタオル」展 in りんくうシークル</p> <p>関西国際空港直近のりんくうタウン駅前に新たに開発オープンされた大型複合商業施設内のショッピングモール「りんくうプレジャータウンシークル」に於いて、12月6日(木)～9日(日)の4日間展示会を開催した。</p> <p>4日間のシークルへの来場者は、15万人を超え、展示会へも非常に多くの来場者があり、一般消費者他へのアピールが出来た。</p> <p><担当者のコメント></p> <p>りんくうシークルへの非常に多くの来場者があり、地域経済にとって活性化に繋がると思われる。そんな中、泉州タオルのアンテナショップ設置や JAPAN ブランド事業「泉州こだわりタオル」の商品展示は、泉州タオルにとっても効果的である。</p>
4.	<p>神戸商工会議所 (神戸ブランドMeets上海)</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>■打合せ会 平成19年12月6日(木)13:30～14:30 於:(株)ぜんまい</p> <p>出席者:(株)ぜんまい 高田恵太郎、神戸市 寺前由美子、神戸商工会議所 藤田敦大(以上3名)</p> <p>内 容:出展社応募状況について。</p> <p>ショーについては、(株)イズム、(有)ケーアンドエム、(株)ビッキー、(株)ワールドの4社が確定。基本的には1ブランドあたり10点だが、(株)イズムについては、5ブランド30点程度の出展となった(出展料は3ブランド分の扱い)。若手ブランド(起業10年未満で年商10億円未満の企業が対象)を効果的に PR するスペシャルステージの企画について協議した。スペシャルステージの出展社数を増やすため、引き続き若手ブランドを対象に参加を呼びかける。</p> <p>ブースについては、(株)ワンダーフォー、神戸レザークロス(株)、ゴンチャロフ製菓(株)の3社の出展が確定した。</p> <p>■打合せ会 平成19年12月14日(金)15:00～16:30 於:(株)ぜんまい</p>

	<p>出席者:株ぜんまい 高田恵太郎、神戸市 寺前由美子、神戸商工会議所 藤田敦大(以上3名)</p> <p>内 容:出店予定企業(ショー)について。既に出展が決定している4社に加え、1社が出展を希望している。若手ブランドの出展数が増えれば、ブース出展を予定しているケミカルシューズの(株)ワンダーフォーや神戸レザークロス(株)と組んでショーに出展し、上海の消費者に対してより効果的なPRが可能となる。</p> <p>上海出張について。出張中、前回のショー出展をきっかけに進出した神戸ブランドや、その他の日本ブランドのショッパが並ぶ百貨店を視察予定。久光百貨、梅龍鎮伊勢丹の2カ所を視察することになった。</p>
	<p><担当者のコメント></p> <p>14日に出展を希望していた企業が1月に入って出展を取り止めた。ショー出展までの短期間で通常業務を抱えながら商材を作成することは難しく、その上、中国での商標を取得していないとのこと。中小企業が海外進出を図るためには、やはりこの2点を克服する事が大きな課題となる。本番が近づいており、現地での出展準備については順調に進んでいる。</p>
5.	<p>菟田野商工会 (UTANOブランドの創出～鹿革を活用した地域ブランド構築事業)</p>
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>○展示会出展報告</p> <p>JFW JAPAN CREATION 2008 AUTUMN / WINTER</p> <p>平成19年12月5日(水)～7日(金) 東京都江東区有明 東京ビッグサイト東館</p> <p>服飾素材として、“鹿革”の柔軟性、保温性をPRし体感してもらう目的で出展する。出品物として、鹿革素材の試作品“鹿革のしなやかさ”を表現した</p> <p>①ライダースジャケット(女性用)</p> <p>②ノーカラージャケット(女性用)</p> <p>③スタジアムジャンパー(男性用)の3点、</p> <p>④鹿革製“帽子”…インドネシア パナマ草との編み合わせ、毛糸との編み合わせ、鹿革の吟面&スエード面と編み合わせした帽子各2点、計6点を出品する。</p> <p>衣服(ジャケット類)については、試作品と同型の牛皮素材の物を同時に出品し、革の柔軟度と重量の違いを来場者に体感してもらった。</p> <p>・来場者アンケートを聴取し、現在結果を集計中である。</p>
	<p><担当者のコメント></p> <p>今回の展示会出品に合わせ、専門家に鹿革の素材特性と持ち味を生かした製品づくりに取組んで頂いた。</p> <p>それぞれの特徴と試作する段階で苦労した事などの報告を受けていたので、小間来場者からの質問や、商品説明に生かす事ができた。</p> <p>“鹿革”の柔らかさやしなやかさ、軽さを実感して頂くため、小間来場者に“鹿革”と“牛皮”のジャケットを着比べしてもらい、評価を得た。</p>
6.	<p>今治商工会議所 (Imabariタオルプロデュース ～「新Towelライフ」の出演～)</p>
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>○ 人材育成委員会開催</p> <p>日時 12月3日</p> <p>場所 テクスポート今治</p> <p>内容 タオルソムリエ資格試験について</p> <p>・テキスト、試験問題の作成について</p> <p>日時 12月21日 場所 テクスポート今治</p> <p>内容 タオルソムリエ資格試験について</p> <p>・テキスト、試験問題の作成について</p> <p>○ ダйм、婦人画報、anan、デザインノート等の雑誌に今治タオルプロジェクトの紹介記事が掲載</p>

	される。
	<p><担当者のコメント> 今治タオルのPRに力を入れている。</p>
7.	中芸地区商工会（「魚梁瀬杉」再生プロジェクト）
	<p><今月の事業実施状況> 平成19年12月6日 高知大学農学部の学生とのBSによる商品案づくり</p>
	<担当者のコメント>

平成19年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援事業(1年目)案件:2007年12月分

番号	実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント
1.	宮城県商工会連合会(NARUKOブランドプロジェクト)
	<今月の事業実施状況>
	<担当者のコメント>
2.	梁川町商工会 (JKB ジャパンニットブランドプロジェクト)
	<今月の事業実施状況>
	<担当者のコメント>
3.	足利商工会議所 (“足利幕府”プロジェクト)
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>○12月3日(月)繊維サポート部会を開催。協議事項は次の2項目。①生地素材の進捗状況(あしぎぬ、トリアセテート他5種類の素材を決め納期等確認。②大茶会開催についての具体的内容について</p> <p>○12月10日(月)コシノジュンコ企画打合せ開催。平成20年2月6日に開催されるジャパンフェスティバル前夜祭のレセプションパーティーで使用される足利のアルミ製品の最終打合せ。その中で外務省主催による国内告知レセプションを1月23日に開催する予定。</p> <p>○12月19日(水)繊維サポート部会を開催。報告事項は次の4項目。①前回の会議の議事録の確認②コシノジュンコ事務所との共同企画「BASARA企画」について③企画公式ロゴマークについて④各種新聞記事の紹介</p> <p>協議事項は次の2項目。①生地素材の進捗状況(あしぎぬ、トリアセテート他5種類の素材を決めサンプル生地が完成し、順次染めに入る段階。②試作品の製作について(祭り用品のかつぎ、ペロアの着物衣装、カメレオン染めによるこたつカバー、エコバッグ、パーテーション、柿渋染めによるなつめ袋、柿渋染めによる足袋、レーシーグラスによる行灯等の試作していくこととなった。)③カスタムオーダーについて(生地素材を活用してどのような商品ができるかをジャンル別に提案)</p> <p>④大茶会の開催について(平成20年2月23、24日の2日間、友愛会館内で開催。今まで取り組んできた試作製品の発表の場として開催するもの。内容は、婆沙羅ブランド展、来場者振る舞い茶席、BASARAプロジェクト展、太平記絵巻展、足利銘仙着付け体験、和菓子づくり体験、茶の湯特別講演会等を企画し、意見交換を行なった。</p> <p>○12月26日(水)プロジェクト実行委員会並びにワーキング部会を開催。報告事項は次の8項目。</p> <p>①足利幕府ブランドデザインコンクールについての進捗状況報告②公式ロゴマークについて(ASHIKAGAのAとBASARAのBを組み合わせたマーク)③BASARAプロジェクトについて(コシノジュンコ事務所と足利のコラボによりアルミ製品の試作品を披露)④繊維サポート部会の進捗状況について(2月の大茶会に向けて試作品の製作に取り組んでいる状況⑤アルミサポート部会の進捗状況について(コンセプトの政所氏との茶道具の試作を進めている状況)⑥その他の試作品について(エコバッグ、パーテーション、行灯等の試作を進めていくこととなった)⑦大茶会の開催について(平成20年2月23、24日の2日間、友愛会館内で開催。今まで取り組んできた試作製品の発表の場として開催することを報告)⑧その他(新聞記事の紹介)</p>
4.	糸魚川商工会議所 (日本唯一・糸魚川ヒスイブランド確立事業)
	<今月の事業実施状況>
	12/3 13:30~16:30 会議所役員室

委員会開催

・ヒスイデザインについて

新作デザイン検討の途中経過報告

後期については生活シーンを考慮し、春の日本情緒を感じさせる桜をモチーフとして検討する

・デザイナーより糸魚川のアクセサリーデザインにつ

いてアドバイス

・海外での商標登録について

前回の報告書を踏まえて商標登録する。

・デザイン画コンテスト応募作品の点検

12/10 13:30～16:30 会議所役員室

業者会議

・ヒスイデザインについて

ヒスイデザインコンペのなかのデザインの傾向を分析し参考とする

「動植物をモチーフとした作品多くみられる。異種な素材との組み合わせある。」ことなどを新しいデザイン に生かす方向で各自すすめることとした。



<担当者のコメント>

・前半の抽象的な「神宿る石」というコンセプトに基づいた各社独自のデザインから、以降は具体的なデザインモチーフを共有し始めることによりやや統一感を意識し始めるようになってきた。さらに統一デザインの創出に向けて進めたい。

5. 甲府商工会議所（ジュエリー産地山梨・産地ブランド「koo-fu」プロジェクト）

<今月の事業実施状況>

第9回ディレクショングループ会議

1.日時 平成19年12月7日(金)午後1時～

2.場所 甲府商工会議所4階401会議室

3.内容 「Koo-fuプロジェクト」について

第1回IJT・発表会小委員会

1.日時 平成19年12月10日(月)午後5時～

2.場所 グローバルコーポーション

3.内容 「Koo-fuコレクション」に関するIJT及び発表会について

第1回商品開発小委員会

1.日時 平成19年12月11日(火)午前11時～

2.場所 水晶宝飾連合会会議室

3.内容 「Koo-fu」に関する商品開発について

第1回品質・ルール小委員会

1.日時 平成19年12月12日(水)午後1時半～


2.場所 水晶宝飾連合会会議室

3.内容 「Koo-fu」に関するルール・刻印について

第2回商品開発小委員会

1.日時 平成19年12月26日(水)午後1時30分～

	<p>2.場 所 水晶宝飾連合会会議室</p> <p>3.内 容 「Koo-fu」に関する商品開発について</p> <p>-今後の展示会等の予定-</p> <p>国際宝飾展への出展</p> <p>1.日 時 平成 19 年 1 月 23 日～26 日</p> <p>2.場 所 東京ビックサイト</p> <p>「Koo-fuコレクション」発表会</p> <p>1.日 時 平成 19 年 2 月 25 日</p> <p>2.場 所 東京(未定)</p>
6.	<p>静岡商工会議所（静岡家具ブランド推進プロジェクト）</p>
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>◆第2回委員会開催(12/11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイナー紹介(セルジオ・カラトローニ氏) ・今年度事業の経過報告を行った。本プロジェクトのネーミングを「NIPPON SENSE」としたこと、また、日本国旗からイメージしたロゴマークとともにホームページを紹介。「2007 東京国際家具見本市」出展については、試作品の出展はできなかったが、本プロジェクトのプロモーションを重視した展示を目指し、当日会場にてバイヤーや一般来場者約 450 名に対してプロジェクト名でもある「日本センス」についてアンケートに答えていただいた内容やイメージ画をブースの壁面やホームページ上に掲示するなど、嗜好を凝らした展示となったこと等を説明した。 ・これまでにデザイナーから提示された 10 種類の家具・照明器具のデザイン画とコンセプトをパワーポイント等を使い説明。デザインのキーワードとして“伝統と革新”“クラシカルモダン”をあげるとともに、シンプルかつユニークなデザインのなかに、木と異素材の組み合わせの面白さがある等説明を行った。また、本年度事業中に最低でも1社1試作品を製作するという方向でコンセンサスが得られた。 ◆第6回ワーキング委員会開催(12/11) ・セルジオ・カラトローニ氏から新たな4種類の家具デザイン(書棚、椅子、テレビボード、本箱)のコンセプトの提示について、パワーポイントを使い説明があった。 <p><今後の予定></p> <p>◆ヨーロッパ国際見本市の現地調査の実施(平成 20 年 1/23～29)</p> <p>メゾン・エ・オブジェ(パリ)の見本市を中心に次年度出展のための事前調査およびヨーロッパ市場の現状調査を実施する。</p> <p>◆第3回委員会開催(平成 20 年 2 月中旬)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メゾン・エ・オブジェ(パリ)見本市の事前調査およびヨーロッパ市場の現状調査の報告 ・次年度以降の事業の方向性について
	<p><担当者のコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた事業期間のなか、参画事業者、コーディネーターと事務局が密に連携を取りながら、今後の事業のスケジュール管理等をしっかりと行っていきたい。
7.	<p>豊橋商工会議所</p> <p>(『三河つくだ煮』ブランディング事業—MIKAWA TSUKUDANI COLLECTION—)</p>
	<p><今月の事業実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 12 月 6 日 第 7 回三河つくだ煮ブランディング推進委員会 開催 <ul style="list-style-type: none"> ①三河つくだ煮ロゴマークの展開(パンフレット、ポスター等への展開)について検討 ②ロゴマークに合わせてキャッチコピーの検討 ③業界紙への広告掲載(20 年 1 月～2 月)について決定 ● 中日新聞による取材への対応

	<p>ローカル、新年企画「三河ブランド」として10件掲載予定のうちの1件として取材を受ける。 「三河つくだ煮」は1月8日掲載予定。</p>
	<p><担当者のコメント> ● ロゴマークのデザイン決定に伴い、「三河つくだ煮」としてのパフレット等の制作に取り掛かる。 スケジュールとしては遅れ気味であるが、今後、作業に拍車を掛けていく。</p>
8.	<p>瀬戸商工会議所（『瀬戸・究極のせとものプロジェクト』ブランド確立推進事業）</p>
	<p><今月の事業実施状況> 12月4日(火) 第7回作業部会 (株)ブランド総合研究所の田中章雄氏を専門家として 招聘して、展示会「ドームやきものワールド2007」出 展した感想について意見交換した後、「エコプロダクツ 2007 地域食とものづくり総合展」出展についての 検討をした。 12月13日(木)～15日(土)に行われた「エコプロダ クツ2007 地域食とものづくり総合展」に出展した。</p> 
	<p><担当者のコメント> 今回の「エコプロダクツ2007 地域食とものづくり総合展」に出展により、「究極のピアカップ」の試 作品(第1次、第2次)を用いた消費者調査(機能性・市場性)が実施でき、今後の事業化への足が かりとなると思われる。 JAPANブランドになるためには、国内での消費者の認知度(産地・産品)向上が必要であると改め て感じた。 また、有松商工会との絞りと陶器のコラボレーションも来場者に好評であったので、今後、JAPA Nブランド同士の商品やサービスの結びつきの相乗効果を狙っていきたいと思った。</p>
9.	<p>蒲郡商工会議所（三河繊維製品のブランド確立プロジェクト）</p>
	<p><今月の事業実施状況> ・H19.12. 3 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏)事業遂行打合せ。(於:東京) 三河JAPANブランドのデザイン打合せ。基本カラーの設定及びデザインの企画スケジュール分担 打合せ。 ・H19.12.12 JAPANブランド育成支援事業第6回事業推進打合せ。 開発素材検討(第6回目)打合せ。専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏)を含み9名 出席。(於:蒲郡商工会議所204会議室) デザイン画・試作検討会。生地規格の糸、密度、表面感、手持ち感、色、ハリ・コシ感、試作価格等 の打合せ。 ・H19.12.13 JAPANブランド育成支援事業推進打合せ。 インテリア開発素材検討打合せ。専門家メンバー2名(杉山哲三・佐口昌司氏)を含み5名出席。 (於:蒲郡商工会議所 相談室1) デザイン画・試作検討会。 ・H19.12.13 事業協力依頼・求評会会場依頼。刈谷木材工業株式会社 蒲郡商工会議所伊奈義兼副会頭・専門家メンバー2名(杉山哲三・佐口昌司氏) 計3名にて訪問。 ・H19.12.17 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏)事業遂行打合せ。</p>

(於:東京)
12.12 のミーティングの修正事項等について打合せ検討。
・H19.12.22 カリモク家具新横浜ショールーム(カリモク家具販売株式会社)。
蒲郡商工会議所伊奈義兼副会頭、専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏)計4名にて
依頼訪問。

10. 大野商工会議所・勝山商工会議所 (『醗酵によるまちづくりを目指して』)

＜今月の事業実施状況＞

12月 3日 「醗酵で未来につながる地域おこし」をテーマに、東京農業大学 小泉武夫教授の講演会を実施。

大野及び勝山両市より、約500名の聴講者あり。

12月 3日 研究品及び試作品の評価

小泉武夫氏及びアドバイザーの橋本彦堯氏により、現在進んでいる醗酵食の研究品や試作品について評価を受ける。

12月 8日 醗酵まつり打合せ

委員長、両部会長及び事務局により、醗酵まつりの際に、地域の醗酵をPRするための(仮称)「おもてなし鍋」の試作品の試食を行い、再度試作することとなる。

12月 10日 醗酵まつり打合せ

- (1)両部会長及び事務局にて、会場の現地確認とレイアウト等について協議を行う。
- (2)モニタリングの実施方法等について検討を行う。

12月 12日 醗酵まつり打合せ

(仮称)「おもてなし鍋」の試作品の再試食を行う。

12月 15日 醗酵まつり打合せ

醗酵まつりにて行うパネル展示の内容等について検討を行う

12月 20日 第11回検討委員会の開催

- (1)醗酵まつり事業の実施内容及び当日の運営について協議を行い、承認を得る。
- (2)検討委員により、(仮称)「おもてなし鍋」の試食を行い、承認を得る。

12月 27日 醗酵まつり打合せ

パネル展示の原稿確認を行う。

11. 鯖江商工会議所 (本質的・本格的な漆の伝統工芸品「REAL JAPAN ブランド」の展開)

＜今月の事業実施状況＞

企画委員会

12月 18日(火)に展示会場にて第2回企画委員会を実施、今後の取り組みについて議論した。

実行委員会

12月 18日(火)に展示会場にて第3回実行委員会を実施、今後の取り組みについて議論した。

展示会

〈国内展示会〉

「REAL JAPAN」ブランド展示発表会

日時:平成19年12月18日(火)～20日(木)



場所:福井県民ホール

	<p><担当者のコメント> 12月18日から20日にかけて国内展示会を開催した。会場には、福井、京都、輪島の職人も集結し、極の技を広くPRできたのではないかと思う。</p>
12.	<p>鳥取商工会連合会 (INABA(因幡)ブランド新商品開発プロジェクト)</p>
	<p><今月の事業実施状況> 12月4日、17日に参画事業者会議を開催。 12月13日にデザイナーと参画事業者が試作品修正事項を協議した。 20年1月17日(木)から29日(火)までリビングデザインセンターOZONE(東京都新宿区)で開催する「INABA“SHIKIRI”展」で展示する試作品づくりを進めている。</p>
	<p><担当者のコメント></p>
13.	<p>内子町商工会・五十崎支所 (Ja Gue Na(ジャゲナ)「和紙を使った生活空間の提案」)</p>
	<p><今月の事業実施状況></p>
	<p><担当者のコメント></p>
14.	<p>香美市商工会(土佐打刃物 JAPANブランドプロジェクト)</p>
	<p><今月の事業実施状況> デザイナーの印南生成より、ネーミング・デザインアイテム・パッケージング(イメージを含む)及びスケジュールについて説明を聞く。 展示会 東京ギフトショー 2月5日から8日開催に参加する</p>
	<p><担当者のコメント> ギフトショー等に出展する機会が少なくなった。 ロゴが決定した事と、課題であった柄の制作について大まかではあるか決定した事により参加者の意欲が出て来た。</p>
15.	<p>大木町商工会 (国産い草を使った花ござブランド創生プロジェクト)</p>
	<p><今月の事業実施状況> ※ JB育成支援事業「インタナショナルギフト・ショー出展打合せ会」を12月12日(水) PM2:00より開催し、平木流通・市場開拓副部会長(佐々木部会長代理)挨拶をし、 ① 愛智より、12月10日(月)に、東京「東京ビッグサイト」で開催された「ギフトショー2008」出展説明会の資料を基に、全体のレイアウト(4社:6小間)、搬入・搬出等については、九州地区指定業者のバンダイロジパルにお願いする事で決定した。 出展については、各社(4社)の特徴ある商品を開展示示することで決定し又、手提げ等の袋を作成する事でも決定した。 続いて、4社 ➡ 6小間のレイアウト(案)について協議し、各企業に持ち帰って検討することにし、次回の専門部会に各社(案)を持ち寄り協議検討することで、決定した。 以上の件について、部会(打合せ会)に諮ったところ全員異議なく可決承認した。 (PM2:00~3:50)</p> <p>※ 4市1町の広域であり、関係市町の担当課長及び関係商工会・商工会議所の担当者により、JB運営委員会(第2回)を12月25日(火)PM2:00から開催し、猪口副委員長(池上運営委員長代理)あいさつ。 続いて、議長に猪口副委員長より議事は進行し、協議に入り、(1)JB進捗状況について、先ず、事務局より19年度JB会議等の実績報告を日時ごとに、詳細に亘り説明をし、委員会に諮ったところ、全員異議なく可決承認した。</p>

- ② 清須美先生より、4社〔(株)イケヒコ・コーポレーション、(株)サンエイト、(株)トーシン、(株)添島勲商店〕の「IGUSAブランドモデル」について、詳細に説明をし、委員会に諮ったところ、全員異議なく可決承認した。
- ③ 市川・清須美先生より、11月に東京で実施した1都3県の団塊世代（60歳前後の8名）・団塊Jr世代（30歳代の8名）の女性を対象にライフスタイルニーズや「IGUSA」に対する評価を把握する為に、い草・い草製品を実際に手に取って触れて貰い、その感触等を、グループインタビューにおいて協議してもらった「首都圏ブランドターゲット調査」の結果報告について、詳細に亘り説明をし、委員会に諮ったところ、全員異議なく可決承認した。
- ④ 佐々木委員より、中学校生徒に対する、い草の持っている特質（免疫性等）の人に及ぼす影響等（生理的・心理的実験）についての調査（九大大学院に依頼）は、親子さんの賛同がどうしても、得られないと言うことで、調査は中止せざるを得ないのが、現情である
本年度は代替案として、九大の学生にお願いするしかないと言うことで、進んでいるのが、現状である。多田委員より、もう一度、教育委員会・中学校長にお願いし、中学校生徒で調査しては、どうかと言うことの意味があったので、事務局より、再度お願いすることで、委員会に

- ※ JB育成支援事業「インタナショナルギフト・ショー出展打合せ会」を12月12日（水）PM2：00より開催し、平木流通・市場開拓副部長（佐々木部会長代理）挨拶をし、
- ① 愛智より、12月10日（月）に、東京「東京ビッグサイト」で開催された「ギフト・ショー2008」出展説明会の資料を基に、全体のレイアウト（4社：6小間）、搬入・搬出等については、九州地区指定業者のバンダイロジパルにお願いする事で決定した。
出展については、各社（4社）の特徴ある商品を開展示することで決定し又、手提げ等の袋を作成する事で決定した。続いて、4社 ➡ 6小間のレイアウト（案）について協議し、各企業に持ち帰って検討することにし、次回の専門部会に各社（案）を持ち寄り協議検討することで、決定した。
以上の件について、部会（打合せ会）に諮ったところ全員異議なく可決承認した。
（PM2：00～3：50）

- ※ 4市1町の広域であり、関係市町の担当課長及び関係商工会・商工会議所の担当者により、JB運営委員会（第2回）を12月25日（火）PM2：00から開催し、猪口副委員長（池上運営委員長代理）あいさつ。
続いて、議長に猪口副委員長より議事は進行し、協議に入り、（1）JB進捗状況について、先ず、事務局より19年度JB会議等の実績報告を日時ごとに、詳細に亘り説明をし、委員会に諮ったところ、全員異議なく可決承認した。
- ② 清須美先生より、4社〔(株)イケヒコ・コーポレーション、(株)サンエイト、(株)トーシン、(株)添島勲商店〕の「IGUSAブランドモデル」について、詳細に説明をし、委員会に諮ったところ、全員異議なく可決承認した。
- ③ 市川・清須美先生より、11月に東京で実施した1都3県の団塊世代（60歳前後の8名）・団塊Jr世代（30歳代の8名）の女性を対象にライフスタイルニーズや「IGUSA」に対する評価を把握する為に、い草・い草製品を実際に手に取って触れて貰い、その感触等を、グループインタビューにおいて協議してもらった「首都圏ブランドターゲット調査」の結果報告について、詳細に亘り説明をし、委員会に諮ったところ、全員異議なく可決承認した。
- ④ 佐々木委員より、中学校生徒に対する、い草の持っている特質（免疫性等）の人に及ぼす影響等（生理的・心理的実験）についての調査（九大大学院に依頼）は、親子さんの賛同がどうしても、得られないと言うことで、調査は中止せざるを得ないのが、現情である。
本年度は代替案として、九大の学生にお願いするしかないと言うことで、進んでいるのが、現状である。多田委員より、もう一度、教育委員会・中学校長にお願いし、中学校生徒で調査しては、どうかと言うことの意味があったので、事務局より、再度お願いすることで、委員会に諮ったところ、全員異議なく可決承認した。
- (2) その他
- ① 事務局より、「ギフト・ショー2008」の出展について、東京「東京ビッグサイト」で2月5日（火）～8日（金）までの4日間開催され、4社で6小間、出展すると言う事で詳細な説明をした。
- ② 清須美先生より、「九州ブランドデザイン展」出展について、東京「ミッドタウン」で2月8

日（金）～3月2日（日）まで開催され、ギフト・ショーで出展した4社で1小間、出展すると言う事で詳細な説明をした。

- ③ 事務局より、「九州資源活用ビジネスマッチングフェア」の出展について、福岡「西鉄グランドホテル」で1月31日（木）の1日だけ開催され、4社で1小間で、パネル展示を中心にして出展すると言う事で詳細なる説明をした。

以上の3点について、委員会に諮ったところ全員異議なく、可決承認した。

[PM2:00 ~ 4:35]

全議案の審議を可決承認し終了した。時に16時35分であった。



平成19年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告

戦略策定支援(0年目)案件:2007年12月分

番号	実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント
1.	釜石商工会議所（海産物）
	＜今月の事業実施状況＞
	＜担当者のコメント＞
2.	鹿沼商工会議所（切削技術）
	＜今月の事業実施状況＞ 12月6日、JAPANブランド推進委員会を開催し、11月10日～11月18日に実施したドイツ市場調査の報告を行った。
3.	みなかみ町商工会（木工加工）
	＜今月の事業実施状況＞
	＜担当者のコメント＞
4.	東京商工会議所（豚皮）
	＜今月の事業実施状況＞ 12/17 専門委員会WGを開催、事業者調査結果の概要報告を行い、戦略策定の方向性について議論。次回会合で再度事業者と専門委員との意見交換を行うことを決定した。
5.	新津商工会議所（花卉）
	＜今月の事業実施状況＞ 12月13日に2回目のJAPANブランド育成支援事業委員会を開催し、「花に関する生活者、生産者へのアンケート調査報告」の中間報告をした。 又、片岡委員長から極東ロシアのウラジオストク花卉園芸の視察報告を受けた。 同日、小委員会を開催し今後のまとめについて協議した。
	＜担当者のコメント＞ ブランド化に向けて、花に関するこのようなアンケート調査を実施したことは過去にないため、まとめれば今後の販売戦略にとって有意義なものとなると思う。
6.	静岡商工会議所（お茶）
	＜今月の事業実施状況＞ ◆第2回委員会開催(12/4 開催) ・今年度事業の経過について報告を行った。2回開催した勉強会ともにそれぞれ成果があり、本プロジェクトに今後参画の可能性がある茶生産業者が見つかってきたこと、また、残留農薬分析調査においても実施した7検体はすべて基準をクリアし、ヨーロッパ市場で流通できる茶葉の用途が立ったこと等の説明を行った。 ・ヨーロッパ市場調査(11/12～20)の報告を行った。今回の調査の主な結果として、日本食ブーム等により緑茶のニーズがあってもドイツの残留農薬基準が厳しく、商品と情報がほとんど無い状況であること、また、すでに出回っている中国の緑茶と日本茶の差別化をどう図っていくのか、EUは量り売りが主流でありジャパニーズスタイルをどのように打ち出していくのか等が今後の検討課題であること等説明を行った。今回の調査先である茶卸業者、茶小売店、茶協会等いずれも今後、本プロジェクトがヨーロッパ市場においてプロモーションしていくことへの協力要請に対して概ね同意をいただけたことは大きな収穫であったとの報告もあった。 ◆EU農薬基準に関する調査[残留農薬分析調査](12月～1月)(随時実施) 参画事業者の関連茶生産業者の茶葉を中心にすでに7検体の調査を実施。今後、勉強会に参加

	<p>された業者等の中で可能性のある茶葉を随時調査する。また、無農薬栽培だけでなく有機栽培や慣行栽培の茶葉についても比較調査を実施する。</p> <p><今後の予定></p> <p>◆静岡市内山間地茶園の現状調査及び品質基準調査の実施(平成20年1月) 静岡市内の山間地茶園の規模や栽培方法、農薬使用状況等の現状を把握するために調査を実施する。これを当プロジェクトを推進していくために必要な茶園とのネットワークづくりに活かしていく。また、次年度、静岡ブランドの茶製品を開発するにあたってのブランド品質基準調査を実施する。</p> <p>◆第3回委員会開催(平成20年2月上旬～中旬)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山間地茶園の現状調査等の成果報告 ・次年度以降のブランド戦略アクションプランについて
	<p><担当者のコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた事業期間のなか、参画事業者、コーディネーター等と事務局が密に連携を取りながら、今後の事業のスケジュール管理等をしっかりと行っていきたい。
7.	東伊豆町商工会 (雛のつるし飾り)
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>12月20日 実行委員会の開催 JAPANブランドセミナーについて アンケート調査について</p>
	<担当者のコメント>
8.	堺商工会議所 (自転車・刃物等)
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>JAPANブランド育成支援セミナー 12月21日(金)開催 堺ブランド「堺技衆」認証企業を対象に、堺の伝統産業の世界ブランド化プロジェクトについてその趣意、進捗状況を周知するべく開催した。 講師として、堺の伝統産業の世界ブランド化プロジェクト準備委員会委員長で、国際法務コンサルタントの中矢一虎氏を招き、特に今回の事業で拡販の対象先としているBRICSへの展開の留意点を中心に解説を行った。 また、BRICSにつづいて有望市場として注目されるVISTA(ベトナム、インドネシア、南アフリカ、トルコ、アルゼンチン)が紹介された。</p>
	<p><担当者のコメント></p> <p>現在、当所が堺の伝統産品の仕向先としてのBRICSの市場調査を行っているが、これらの地域において、日本で常識とされる決済期限などの基本的なコンプライアンスについては、その概念から大きく異なる。 したがってこれらの地域での商談については、契約内容に細心の注意が必要であることを学んだ。</p>
9.	紀州有田商工会議所 (手袋・靴下)
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>調査委託会社に国内外の手袋靴下に関する調査を依頼(国内サンプリング100件予定)</p>
10.	東広島商工会議所 (日本酒)
	<p><今月の事業実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月3日 西条酒ブランド育成委員会(第3回) 基本戦略とアクションプランについて協議し、次回委員会で取りまとめることとした。 ・12月3日 西条酒ブランドセミナー開催 JETRO広島共催 テーマ「日本酒・日本料理を巡る米国市場の今」－米国におけるビジネスチャンス－ 講師 フードジャーナリスト 片山晶子氏

	<p>〔要旨〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本料理のステータス化に伴い、高級酒(冷酒)の取扱が増加している。 ・日本酒はアルコール飲料の一つに過ぎない。アメリカは来年世界一のワイン消費国になると予想される。 ・日系酒流通業者が和食店 9 割に入り込んでいる上 1 社平均 60 銘柄を扱っており、新規参入は難しい。 ・ラベルは表やデザインは日本語でも、裏のラベルは丁寧に消費者が分かり易いように作る必要がある。アメリカでは数字が好まれる。 ・アメリカの流通業者は大規模な再編が進行中で、取引のチャンスがある。 ・産地ブランドづくりには、地域の特徴を出す。特徴にしっかりした理由があることが重要である。西条で打ち出すのであれば、他の産地との違いをはっきりさせる。
	<p><担当者のコメント></p> <p>今から、普通に海外進出しても現状では新規参入は難しいことから、最近増えている海外からの来訪客に西条酒のファンになって頂き、それを糸口に浸透を図っていく戦略を検討している。ただ、商品や産地の説明をする言語を何カ国語も作るとはコスト的に不可能で、マーケティングの面でもターゲットの絞り込みが課題である。</p>
11.	人吉商工会議所 (焼酎)
	<今月の事業実施状況>
	<担当者のコメント>
12.	佐伯商工会議所(寿司)
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>12月10日～14日</p> <p>海外デモンストレーション(事業対象外) 対象都市:ドバイ</p> <p>11月のドバイ海外市場調査で日本総領事館を訪問した際、12月12日に行う日本総領事館主催の「天皇誕生日レセプション」のときに、寿司の実演をしてみないかという誘いをいただいた。それに応えて、佐伯の寿司職人 2 名を伴い、ドバイを再訪。ドバイの政府関係者や主要財界人、現地日本人駐在員等、約 300 名が出席するレセプションで、寿司の実演および試食提供を行った。佐伯市から持参した寿司ネタ約 800 貫分は、30 分ほどでなくなってしまうほど、たいへん好評であった。</p>
	<p><担当者のコメント></p> <p>今後は、引き続き海外調査として、1月中旬にバンコク(タイ)・シンガポールを、2月上旬に香港を予定している。</p>
13.	宮崎商工会議所 (地鶏加工食品)
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>12月12日(水)に「第2回宮崎地鶏ブランド戦略策定委員会」を宮崎商工会館にて開催し、ブランド戦略の方向性と今後の事業内容について意見交換した。</p> <p>12月17日(月)に「第4回宮崎地鶏ブランド戦略策定委員会ワーキンググループ会議」を宮崎商工会館にて開催し、市場調査の報告とブランド戦略の方向性について意見交換した。</p> <p>12月14日～15日に、戦略策定に必要な情報を収集するため、東京ビッグサイトで行われた「地域食とものづくり総合展」と「都内主要百貨店」で市場調査を行った。</p>
14.	宮古島商工会議所 (繊維製品)
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>第7回JAPANブランド事業推進部会で「みやこ布」について議論した。宮古島産の「苧麻」を主材料に使用することについては、関係者の共通認識がされている。しかし、その紡ぎ方や組み合わせる他の素材についての意見が分かれている。綿、絹等をタテ系またはヨコ系に使用する考えである。いずれも甲乙つけがたく、結論は持ち越しとなり、今後の試作段階で具体的に比較検討し、素材を</p>

	<p>絞り込むことにした。</p> <p>第8回JAPANブランド事業推進部会で、本事業の事業主体及び 20 年度から3か年にわたる事業化準備期間における運営主体について議論した。今のJAPANブランド事業推進部会ではそのいずれの主体になるのも困難であり、一度仕切り直しをし、事業希望者、参加意向者を募る必要がある。当面、来年度に向けてその母体の確定を急がなければならないことを確認した。</p>
	<p><担当者のコメント></p> <p>みやこ布」の素材については、「宮古上布」の伝統及び流れをくみつつ、耐久性、清涼感を確保しなければならない。また、他の産地の布との差別化も求められるところであり、繊維メーカー等のヒアリングによる素材面と技術的な情報収集を進めて、試作の事前の検討をしたい。</p> <p>事業母体及び事業推進母体については、今のところ流動的である。20 年度に向けて、推進整備組織を早急に立ち上げるべく精力的に対応したい。</p>
15.	北谷町商工会（琉球ガザミ蟹）
	<今月の事業実施状況>
	<担当者のコメント>
16.	伊江村商工会（シモン合鴨）
	<今月の事業実施状況>
	<担当者のコメント>